



無所属・無党派

さいたま市議会議員

川村 準

じゅん

市議会レポート

5月号

南区南浦和1-27-11-107
携帯 090-1404-2151
junkawamura@yaho.co.jp

政務活動費

疑惑の沢田氏が無罪放免に 検察の判断に異議アリ

2017年7月に判明した沢田力・埼玉県議による政務活動費の不正使用。私が刑事告発したものの、今年3月19日付で不起訴になりました。不起訴の理由は明らかにされず、沢田氏は刑事的制裁を受けるべき、ということでは私は検察審査会に審査申し立てを行いました。

地方検察では3月19日に沢田氏の不起訴を決定しました。

この時期は、3月29日から告示されるさいたま市議会議員

2017年7月に判明した沢田力・埼玉県議による政務活動費の不正使用。私が刑事告発したものの、今年3月19日付で不起訴になりました。不起訴の理由は明らかにされず、沢田氏は刑事的制裁を受けるべき、ということでは私は検察審査会に審査申し立てを行いました。

所属の自民会派も呆れ

沢田氏の政務活動費ですが、約1200万円の不正使用が指摘されています。不正使用の発覚後に沢田氏は埼玉県議会議員を辞職したものの、詳しい説明が本人の口からなされず、所属していた自民党からも「県民に自ら説明し謝罪して

ほしい」（2019年3月20日の埼玉新聞）とあきれられる始末です。政務活動費の不正使用が発覚後、私は浦和警察署に刑事告発を行い、昨年の8月には警察から検察へ書類が送られました（書類送検）。しかし、さいたま

他県は有罪判決多く

そこで3月25日、検察審査会に審査申し立てを行いました。

そもそも、政務活動費の不正使用では、2014年7月に発覚した野々村竜太郎・元兵庫県議には、神戸地裁で懲役3年執行猶予4年の有罪判決が出ています。

検察審査会とは、検察の不起訴処分に関して申し立てを行うと、不作為で選ばれた11人の市民が検察の対応は適当だったか審議する機関です。

他にも、2017年8月に発覚した橋本健・元神戸市議会議員も神戸地裁で懲役1年6月執行猶予4年の判決が出るな

結果で、不起訴不当や起訴相当の判断が出た場合には、検察官は再度事件を検討

選挙の立候補準備で、私自身忙しい時期ではありましたが、沢田氏の不起訴について検察から何の理由の説明もなく、一県民として沢田氏の不起訴は納得できませんでした。

選挙の立候補準備で、私自身忙しい時期ではありましたが、沢田氏の不起訴について検察から何の理由の説明もなく、一県民として沢田氏の不起訴は納得できませんでした。

今回の埼玉県議会議員選挙の投票率は35・52%と過去最低になりました。

こうした低投票率には、政治家と市民の信頼関係がしっかりなされていないことが原因の一つです。

より透明化し政治家と市民の信頼関係を築くために、私は今後も政務活動費の改革を前に進めていきます。